









一般質問



13名の議員が聞いた

3月議会は13名の議員が質問に立ちました。次のページからご覧ください。(QRコードから録画映像が見られます) ➡

質問議員		ページ
	小林 由明 (チームつばめ)	P.13
	樋浦 恵美 (公明党)	
	土田 昇 (日本共産党)	P.14
	岡山 秀義 (チームつばめ)	
	柳川 隆 (市民クラブ)	P.15
	齋藤 信行 (大河の会)	
	大岩 勉 (新風みらい)	P.16
	中山 眞二 (新風みらい)	
	渡邊 広宣 (市民クラブ)	P.17
	タナカ・キン (市民クラブ)	
	長井 由喜雄 (日本共産党)	P.18
	宮路 敏裕 (日本共産党)	
	堀 勝重 (新風みらい)	P.19

はい！
議長！



私(市民)も一言 議会との 交流掲示板

ミニコラム
vol.6

65号で議会だよりは紙面リニューアルされ、66号から皆さんにお答えいただけるアンケートを始めました。今回は、アンケートに寄せられた皆さんの声に議会が回答します。題して「議会との交流掲示板」！

回答数：9件（令和4年3月末現在）
5段階評価の平均：3.7



色の使い方にもう少し配慮を。

市民④

即反映！ 2色刷りの制約の中で精一杯工夫しました。



ページをめくったら、つい読んでしまいました。

市民⑤



裏表紙の定例会カレンダーが見やすくなりましたね。

市民⑥

ありがとうございます。市民の皆さんの率直なご意見を聞けて大変嬉しいし、励みになります！



各委員会の意見要望も載せてほしい。

市民⑦

紙面の都合もありますが、可能な限り掲載できるようにしていきます。



いただいたご意見は紙面の関係上、文面を割愛させていただいています

あなたの声を
カタチに

簡単！1分アンケート
まだまだ募集中

お待ちしています



1分程度で終わる簡単なアンケートです。QRコードをスマートフォン等で読み取りご回答ください。





さまざまな課題等について、議員が自身の提案も含めて、市に考えを聞くのが一般質問です。



- この項目について質問しました
- 1 都市環境と立地適正化計画について
 - 2 買い物弱者支援について
 - 3 情報のバリアフリー化について

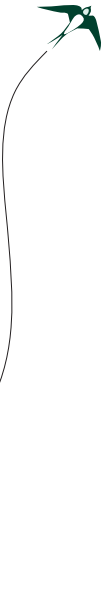


必要な情報を必要な方に！

問 感染症拡大といった緊急時に、視覚障がいを持つ方へのホームページからの情報提供が、不十分だったという声が届いている。

答 市の情報であれば、そういったところを徹底できる部分もあるが、例えば国や県などの情報については、手が追いつかないという状況もある。しかしながら、どうか対応していかなくてはいけないということについては課題として認識しており、しっかりと対応できるようにしていく。

問 今般の感染症関連の情報発信の中では、例えばPDFがそのまま貼りつけてあったり、画像がそのまま貼りつけてあったりということ、スクリーンリーダーで情報を得ることができないページがあったということを確認されているか。



(■ マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています)



- この項目について質問しました
- 1 認知症対策について
 - 2 女性が働きやすい環境整備について
 - 3 市民の健康を守る施策について



認知症の方や家族を守る施策について

問 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業は、認知症の高齢者による事故などで、本人や家族が賠償責任を負う事態に備え、市が加入する民間の保険によって保障すること。

答 令和2年7月時点で、全国で60自治体のみが実施している。自治体任せではなく、国が公的支援の枠組みをつくるべきとの意見等もあり、全国市長会において、国に支援制度創設の要望が出され、国のほうで令和2年度より調査研究が始まっている。市としては国が行っている政策効果の分析結果、他の自治体の動向などを注視していきたい。

带状疱疹ワクチンの周知や接種の推進

問 带状疱疹ワクチンの周知や接種の推進、接種費用の助成について、どう考えるか。

答 带状疱疹ワクチンは現在任意接種として位置づけられ、市として周知や接種の推進については積極的な取り組みは実施しておらず、公費助成についても行う予定はない。国で定期接種化についての議論が続けられており、その動向を注視していきたい。



認知症になっても安心して暮らせる取り組みを



マークがついた囲み内の文章は、議員による質問の背景や説明をまとめたものです。



東京電力の一連の不祥事の認識は



- この項目について質問しました
- 1 柏崎刈羽原発の問題点について
 - 2 再生可能なエネルギーの推進について
 - 3 国道116号線の吉田バイパスの進捗状況について



問 県知事選挙が令和4年5月29日投票の予定になつている。選挙になれば、柏崎刈羽原発の再稼働が大きな争点になると思う。福島第一、第二原発の処理水の問題も大きく報道されており、福島第一、第二原発を見ると、人類は原発と共存できないことが示されていると思う。この点について市長の見解を伺う。

答 議員が今回取り上げた報道記事は、1980年代後半からこれまで繰り返し発覚した東京電力の不正、不適切な対応について掲載されたものであり、データの改ざんや隠ぺい、あるいは必要な対策の実施など、問題が発覚し、原因の分析を行っているにもかかわらず、相次いで不祥事を起こしているという内容である。私(市長)は、このような東京電力

問 議員が今回取り上げた報道記事は、1980年代後半からこれまで繰り返し発覚した東京電力の不正、不適切な対応について掲載されたものであり、データの改ざんや隠ぺい、あるいは必要な対策の実施など、問題が発覚し、原因の分析を行っているにもかかわらず、相次いで不祥事を起こしているという内容である。私(市長)は、このような東京電力



柏崎刈羽原子力発電所

の安全性を軽視する組織風土について、今回の記事が掲載される前から感じていた。福島原発の事故から10年経過した現在でも、汚染処理問題など様々な問題を抱えており、燕市民も不安を感じていると考えている。

(マークの項目は、本文に内容を掲載しています)

心を育てる長善館の教えを子供たちに!!



- この項目について質問しました
- 1 心を育てる教育について
 - 2 市営墓地について
 - 3 体育館の空調設備設置について
 - 4 燕市PR大使・燕市PR隊鳥(長)について



問 信濃川の氾濫は大河津分水路により守られ、燕市は発展してきた。「困っている人を救う慈悲の心」「誰にでも親しく接する平等の心」「私利私欲を持たない公平無私な心」良寛さんから三つの心を受け継いだ長善館。今こそ、先人の教えや心を学ぶときである。

問 長善館の学は「自分の良いところを伸ばす」「困っている人のために学習する」「学んだら行動することが大切」という教えを子供たちに開成し、大河津分水路100周年記念事業に合わせ、建設に尽力した門下生の学びや心をオンライン学習・現地体験し、心豊かなつばめの子どもを育てるべきである。また、心を育てる道徳の授業に長善館の教えを取り入れ、人を思いやり「いじ



長善館の教えを子供たちに!!

答 長善館と教室を結んだオンラインでの学習は有効である。道徳には、郷土の伝統と文化の尊重などの項目もあり、地域社会の一員として郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を抱くことや、地域教材の開発・活用も記載されている。長善館の創始者、鈴木文臺(ぶんたい)の功績を題材にした漫画を製作し、道徳での活用も検討する。

脱炭素社会の推進事業について



- この項目について質問しました
- 1 脱炭素社会の推進事業について
 - 2 新型コロナウイルスワクチン接種について
 - 3 市長の政治姿勢について



問 「次世代エネルギー技術等活用可能性調査事業」の概要について伺う。

答 経済産業省の「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」を活用したもので、燕市においては、再生可能エネルギーの可能性を調査するため、調査委託費の1643万4000円を計上し、国へ全額補助金申請を予定している。

問 調査内容は。

答 市内5か所を選定し、小風力発電に関する可能性を調査したいと考えている。

新型コロナウイルスワクチン接種のこと

問 5歳から11歳の接種方法はどのようなものか。



3回目が行われているコロナワクチン接種

答 学校としては、欠席について取り扱う場合についてもどの子がどう理由で休んでいるかということについて、特に子供たちに公表することはない。また、それぞれが別々の日に接種することになるので、欠席をしているかという接種をした、してないは分かることはない。

問 接種を受けないことにより、「なんで打たないのか」というような集団同調圧力についての見解を伺う。

答 市内小児科医での個別接種を基本としている。

大河津分水路改修と旧可動堰の今後は



- この項目について質問しました
- 1 小中学校の教育課題
 - 2 道の駅上りのリニューアルについて
 - 3 都市計画の中における農業振興地域内農用地区域
 - 4 大河津分水路改修事業について



問 通水100周年に当たり残された旧可動堰の有効利用、残土利用、インフラリズムは燕の発展に。

答 大河津分水路改修事業の中で、残土利用をどう計画しているか。インフラリズムの現状は。残された旧可動堰の今後は。

問 インフラリズムは燕・弥彦広域観光連携会議の観光タクシー事業のメニューに、大河津資料館や大河津分水にここみえる館、現場を見るコースを設け取り組む。昨年11月には食を通じて地域の歴史や文化を体験できるイベントを大河津資料館で開催した。令和4年度は通水100周年の知名度向上を図っていききたい。残土の利用は将来を見据えた



旧可動堰を含めた施設整備は

中で、都市の骨格となる道路など発展に資するインフラ整備を計画した場合には積極的に活用したい。旧可動堰は、大河津資料館の運営スタッフによるガイド付きで見学が行われている。昨年は11月13日から23日まで新旧2つの可動堰のライトアップと、期間中に2回ナイトツアーも行われた。令和4年度は、これまでに以上に旧可動堰を含めた大河津分水周辺施設が、観光資源として有効活用できるような国や関係機関と連携して取り組みたい。



合併して節目の20年、4年間の舵取りは

問 次期市長選挙での燕市の最重要課題への認識と、人口減少問題を中心とした地方創生の取り組みを伺う。

答 最重要課題は、新型コロナ禍からの早期回復と、未来につながる長期的視点に立った持続可能な日本一輝いている燕市を目指すことが重要と考えている。地方創生の取り組みでは、令和4年度に策定する第3次総合計画、

燕市の最重要課題と未来像は



- この項目について質問しました
- 1 市長の政治姿勢について
 - 2 新型コロナウィルス禍の市政状況について
 - 3 都市政策について



財政負担を考慮に入れた都市形成を

問 持続可能なまち形成に向けた市の現況と、コンパクトシティの認識について。

答 まちづくりマスタープランで持続可能な100年後も輝き続ける燕市を目指し、交流応援人口を増やしつつ、まち全体を賢く縮めていくことも方向性の一つと考えている。

問 燕市の社会増減は、平成30年度以降から転出が減少傾向であり、この都市から地方への流れを継続的にすることが重要と考えている。人口減少とそれに伴う税収の減少が見込まれる中、生活サービスの提供と社会インフラの効率的公共投資を含め、コンパクトなまちづくりは必要不可欠と考える。

答 燕市の社会増減は、平成30年度以降から転出が減少傾向であり、この都市から地方への流れを継続的にすることが重要と考えている。人口減少とそれに伴う税収の減少が見込まれる中、生活サービスの提供と社会インフラの効率的公共投資を含め、コンパクトなまちづくりは必要不可欠と考える。



- この項目について質問しました
- 1 市長の政治姿勢について
 - 2 教育指導の問題点について
 - 3 燕市表彰式消防団員の授賞者欠席について



燕労災病院跡地の整備計画は！

問 燕労災病院跡地活用整備計画を伺う。

答 県立の特別支援学校を建設する方針である。

若者の県外流出に歯止めを

問 移住促進計画に本腰を入れているのか。

答 燕市に愛着を持たれるよう取り組む。

小池中学校糸半プロジェクトについて

問 地域交流と発信に学んでいる活動は素晴らしいと思うが。

答 教育委員会としても生き生きとした活動を推進している。

■令和3年度燕市表彰式

個人：67名	団体：2
--------	------

■消防団員表彰者 23名

出席者：7名	欠席者：16名
--------	---------

市表彰式受賞者の消防団員なぜ多く欠席

問 綱紀粛正を大切にすべき団体なのに、毎年傲岸不遜な行動されるのか。

答 感謝の意を伝えるべく案内しているが、やむを得ず欠席されたものと解している。

金額の大きな乖離の謎と自治会の存続は

問 15年前、水道の塔を解体する見積もりが、4000万円、改修8000万円と報告された。結果7000万円と改修された。今回、改修が不十分で再び解体か改修かの協議に入ったが、昨年の9月議会で解体が4〜5億円、改修もさらに数億円と金額が10倍となっていた。以前の見積もりと差がありすぎて理解不能である。引き継ぎ内容や、過去のデータを調べて答弁しているのか。

答 担当者が交代していく中で引き継ぎが途切れたと考えている。当時の工法は、騒音・振動等の配慮が不十分で、適正ではなかったと認識している。議会への説明も適切ではなかった。



引き続き事務が問われる改修工事

問 自治会は任意の団体であり、「あつて当たり前」から「ないこともある」に備えて対策を考



- この項目について質問しました
- 1 コロナ対策について
 - 2 改修費におけるPDCAについて
 - 3 地域振興について
 - 4 県央の将来について



問 15年前、水道の塔を解体する見積もりが、4000万円、改修8000万円と報告された。結果7000万円と改修された。今回、改修が不十分で再び解体か改修かの協議に入ったが、昨年の9月議会で解体が4〜5億円、改修もさらに数億円と金額が10倍となっていた。以前の見積もりと差がありすぎて理解不能である。引き継ぎ内容や、過去のデータを調べて答弁しているのか。

答 年額として均等割2万円、世帯割りとして1戸当たり1350円で、県内自治体と比較して大差ない。自治会加入は任意であるが、市にとっても重要な組織と認識している。自治会の考えを尊重しながら、効果的な支援策を検討する。

有能な人材の確保が市内企業の発展に

問 若monoデザインコンペティション燕の大賞の賞金を、10万円から30万円に引き上げることで、全国の学生や若手デザイナーから注目されることになる。

答 受賞賞金の拡充により今後、期待されることは。

問 全国の学生や若手デザイナーの出品意欲をより一層高め、多くの参加者による、より質の高いデザインの受賞につながる。受賞されたデザインを市内企業が形にするという本コンペの特徴を、より一層発揮することを期待している。

問 プロダクトデザインの国際コンペティションで有名なものに、文具メーカー、コクヨが主催しているコクヨデザインアワードがある。国内外58か国から応募された1401点の中から、10作品をファイナリストとして作品展を開催している。このファイナリストという考え方にさらなる可能性はある。燕市でもファイナリスト10作品を、産業史料館で展示すれば出品者は燕にやって来るし、県内の学生や市内企業のデザイナーにとっても刺激になる。

答 また、会期中に出品者と市内企業が交流を持つことで、燕の企業への就職希望者が増えることにつながる。



- この項目について質問しました
- 1 燕市全天候型子ども遊戯施設整備事業について
 - 2 ふるさとCM大賞について
 - 3 若monoデザインコンペティション燕について
 - 4 コロナウィルス感染による児童の心のケアについて



答 そのとおりだと思う。



大賞 (自立する丸底フライパン)

(■) マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています)



ながい ゆきお
長井由喜雄
(日本共産党)

「」の項目について質問しました

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 子供のコロナワクチン接種について
- 3 県央地域の医療と県央基幹病院について



(■)マークの項目は、本文に内容を掲載しています)

県央基幹病院の住民説明会を早急に



2023年開院予定の県央基幹病院は、鉄骨が組み始め、徐々に全体の姿を見せ始めている。しかしながら住民に対する説明会は4年前の3月にやったきりである。運営母体や病床数や公的病院の役割、基幹病院との連携の在り方など、大きく変わったことが県央地域の住民には説明がされないままとなっている。

説明会以降大きく変わっている。再度、オンラインではない説明会の開催を求めるべきではないか。



県は2月5日に地域医療を考えるシンポジウムを計画していたが、コロナ感染状況から報道発表前に延期された。経営主体も決定したが、医療提供体制も含め、最新の整備計画をしっかりと説明してもらわなければならないという問題意識は持っている。オンライン説明で我々は良しとしなので、改めて状況を見て、しっかりとリアルな形で開催してもらうように要望していきたい。



みやじ しゅんりゅう
宮路敏裕
(日本共産党)

「」の項目について質問しました

- 1 新型コロナウイルス感染から市民の命と暮らしを守る施策について
- 2 県立吉田病院のあり方について



療養者支援、一人も置き去りにするな



自宅療養では症状悪化や単身者の場合、大変不安を感じる。受診体制と県と市で情報共有は。



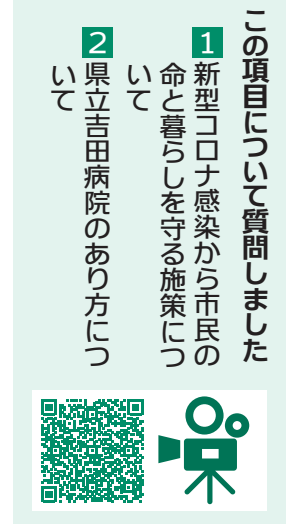
県医療調整本部が毎日健康観察し、体調不良時は終日電話相談が可能。医師のオンライン診察と薬の処方も受けられる。感染情報は県と保健所で共有するため、市では直接療養上の支援はないが、状況が悪化したら119番してもらうよう県として周知している。



新型コロナウイルスの影響で小学校・保育園が休校・休園となり、保護者が仕事を休む場合の支援として、小学校休業等対応助成制度があるが、概要と周知は。



子供の世話をするため有給休暇を取った従業員賃金分



みやじ しゅんりゅう
宮路敏裕
(日本共産党)

「」の項目について質問しました

- 1 新型コロナウイルス感染から市民の命と暮らしを守る施策について
- 2 県立吉田病院のあり方について



の事業者への助成と、個人で仕事をする保護者へ支援する国の制度である。対象期間が6月まで延長される予定。市として、ホームページや事業者向けメルマガで周知している。



新型コロナウイルスに対応する県立病院の責務を踏まえれば、県立吉田病院は民間運営でなく、県立病院として運営されることが地域にとつて長い目で見ても安心と信頼が得られるのでは。



県病院局長が公設民営とは県立病院であり、最終的責任は設置者の県にあると明言している。県が責任を持つものと認識している。



県央地域の医療と基幹病院について伺う。県は住民説明会を2月18日(金)の13時から45分間オンラインで開いた。事前に募集した質問も14日に締め切るなど、県央の市民が参加できる説明会とは言い難いものだった。状況は4年前の



鉄骨が組み始めた県央基幹病院



感染症対応の機能充実が望まれる吉田病院



マークがついた囲み内の文章は、議員による質問の背景や説明をまとめたものです。



この項目について質問しました
1 子育て支援について



全天候型子ども遊戯施設整備について!!

問

平成31年の3月議会、令和元年12月議会、令和3年3月議会の一般質問で3回にわたり一貫して「全天候型子ども遊戯施設」の必要性について質し、ようやく整備することとなった、この「全天候型子ども遊戯施設整備」に向けた現時点での進捗状況について伺う。

答

令和4年度において実施する、用地取得や造成工事、基本設計実施のための準備を行っており、令和6年度中のオープンを目指している。このような施設と近隣の交通公園、こどもの森が連携すれば相乗効果が図られ、本市の子育て施策のソフト面と相まって、子育てするなら燕市、これを内外にアピールできる本当に目玉事業となると考えている。燕市のシンボルとなるよう、積極的



子供たちの健やかな成長を心から願う!!

に実現できるよう取り組む。



ニ
コラム
vol.7

なるほど!! 目からウロコの議会学/ 今回のテーマ「会議名のナゾ」

議会では日々様々な会議が行われています。ひとえに「会議」と言っても、実は名称も協議する内容も異なります。今回は、市職員でもなかなか分からない、議会の会議名の謎に『クイズ形式』で迫ります。



事務室の様子をパシヤリ(※飲み物を飲むために一時的にマスクを外しています)

Q

次の①～③の会議は、下記のA～Cのどの会議のことを説明しているでしょうか?

①会派代表者会議 ②議会運営委員会 ③『風通しのよい議会』を作るための井戸端会議

A

会期、請願・陳情の取扱い、議会関係の条例等の取扱いなど議会運営全般について、協議し、意見調整を図る場。強い調整機能を持つのが特徴。

B

議会全般の諸問題について、各会派間の意見調整等を行う場。本会議や委員会における審議・審査を補完するための協議や調整をする役割もある。

C

議員同士が事務室や控室において、会議前や会議後を中心に自由なテーマで話し合う場。これがホントはとても大切かも…



答えは、①=B、②=A、③=C